



群馬県立心臓血管センター

地域医療連携たより

No.

59

当センターは《地域医療支援病院》です。

群馬県立心臓血管センター
地域医療連携室

〒371-0004 群馬県前橋市亀泉町甲 3-12
TEL:027-269-7455 (内線 2040・2043) / FAX:027-269-7286
URL:<https://www.cvc.pref.gunma.jp/>

目次

- ▶ 令和3年度群馬県立心臓血管センター症例検討会のご案内
- ▶ 副院長退官にあたって 前副院長 有田 覚
- ▶ 副院長就任にあたって 副院長 江連 雅彦
- ▶ ミニレクチャー「当院におけるSHDインターベンションの現況と将来の展望」

第74回群馬県立心臓血管センター症例検討会ミニレクチャーより 循環器内科第三部長 山下 英治

- ▶ コメディカルコーナー《薬剤部より/病院薬剤師のオシゴト》
- ▶ 令和3年度新入職医師紹介
- ▶ 令和3年4月度外来担当医一覧表

ゴールデンウィーク期間中の 当センター外来診療について

ゴールデンウィーク[4/29(木)、5/1(土)～5/5(水)]の間は、通常の外来診療を休診とし、急患のみの対応となります。

令和3年度

群馬県立心臓血管センター 症例検討会のご案内

日本医師会生涯教育
【1.5単位】認定の検討会です

日程	内容	ミニレクチャー	症例検討	症例検討
5月18日	症例検討会	虚血性心疾患	心臓血管外科	虚血性心疾患
9月頃予定	学術講演会	9月以降の発表内容、開催日につきましては、改めてご案内申し上げます。	症例検討会・学術講演会ともに会場は、 群馬県立心臓血管センター総合リハビリ棟 講堂 となります。	
11月頃予定	症例検討会			
1月頃予定	症例検討会			
2月頃予定	学術講演会			
3月頃予定	症例検討会			

参加費
無料

ご多忙の中、令和2年度開催の症例検討会・学術講演会にご参加いただき、誠にありがとうございました。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、一部症例検討会・学術講演会をWebと会場参加を合わせたハイブリッド形式にて開催いたしました。本年度も適時状況を判断し、開催の可否や開催方法を検討してまいります。

開催が決まりましたら、改めてご案内をお送りいたします。どうぞよろしくお願い致します。

■ 副院長退官にあたって

このたび令和3年3月31日で定年退職となりました。在任中は登録医の先生方には病診連携や病病連携で大変お世話になりました。ありがとうございました。

私は平成9年3月1日に、群馬大学より当時の群馬県立循環器病センターに赴任いたしました。当時の整形外科は常勤医2名と非常勤医1名という体制でした。麻酔科や一般内科も常勤医が2名だったので、協力して増員してもらえるように当時の谷口院長に働きかけました。

増員のためには実績を上げることが一番であり、当時始まってまだ普及していなかった肩関節の関節鏡視下手術を積極的に行うほか、関節リウマチの方や変形性膝関節症の方に対して人工関節手術等を行いました。脊椎や股関節といった私の専門以外の手術は専門医を招聘してなるべく当院で行うようにしました。年間200件程度の手術を行い、平成14年から常勤医1名が増員され、3名での体制となりました。

前副院長：有田 覚 診療科：整形外科

【外来診療日】水曜日 ※詳細は外来担当表を御覧ください

平成15年から医局長を務め、整形外科だけではなく病院内の会議等の仕事も増えました。

平成24年から医療局長を拝命し、整形外科の部長を鈴木先生に引き継ぎました。医療局長になると自分で主催する会議も増え、参加する会議とあわせて30程度になり、会議に追われる毎日になってしましました。

平成27年9月から医療安全管理室長を拝命し、まず医療安全に対する職員の意識向上を行いました。途中2年間星崎前副院長にバトンタッチをしましたが昨年より復帰し、安全な医療が提供できるように体制作りに努めて参りました。大きな医療事故もなく退任せき、一安心と言ったところです。

思い返すとあっという間に過ぎた24年間でした。私は退職となりましたが、登録医の先生方におかれましては今後も引き続き心臓血管センターをよろしくお願い申し上げます。



■ 副院長就任にあたって

この度、令和3年4月より副院長に就任しました江連です。心臓血管外科医として当院に赴任してから21年が経ちました。その間にはリハビリ棟、外来棟の2度の増改築がありました。ICUの増床や診療科再編による病棟の改変により、地域医療を担うと共に当院に求められるより専門性のある機関へと変遷してまいりました。

医療ディバイスや技術の進歩により新しい治療が可能となっていましたが、治療施設も限定される時代となっています。そうした中、不整脈、虚血性心疾患、心不全、大動脈疾患、心臓リハビリテーション分野等において常に高度専門医療を提供できる体制をとっています。群馬県内では唯一当院のみで可能な治療も少なくありません。

また、麻酔管理の充実等により循環器疾患を合併する消化器外科や整形外科治療に対しても他にできない治療を提供しています。

心臓血管外科では3年前、前任の金子副院長退任の後を引き継がせていただきました。21年前に比べての人員は6名から9名に増えました。これまでの冠動

脈バイパス術、弁膜症手術、大動脈疾患に対する人工血管置換手術に加え、小切開、ビデオアシスト等による低侵襲手術（MICS）も可能となっています。また成人先天性疾患手術、重症心不全に対する植込型補助人工心臓治療、下肢虚血に対するバイパス手術や下肢静脈瘤に対するラジオ波焼灼や接着術等、様々な手術治療を提供しています。経カテーテル的ステントグラフト留置や大動脈弁置換、感染リード抜去など循環器内科と共同での治療も積極的に行ってています。緊急手術を要する大動脈解離や大動脈瘤破裂に対しては24時間、365日受け入れ可能な体制をとっています。

日頃かかりつけの先生方に多くの患者さんを紹介いただいておりますが、治療後安定した時点で、患者さんにとって近く安心して通えるかかりつけの先生方をお願いするなど今後も病診連携を進めていきたいと存じます。「患者本位の医療」の基本理念の下、内藤院長、安達副院長はじめ病院職員と協力し、務めを果たせるよう努力したいと思います。今後とも御指導、御鞭撻いただきますようよろしくお願い申し上げます。



副院長：江連 雅彦 診療科：心臓血管外科

【外来診療日】火曜日、水曜日 ※詳細は外来担当表を御覧ください

当院におけるSHDインターベンションの現況と将来の展望

» 循環器内科第三部長 山下 英治

» SHDとは

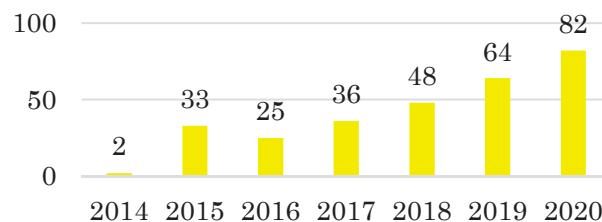
SHD (Structural heart disease:構造的心疾患)とは心臓大血管の構造的異常であり、狭心症・心筋梗塞に対するPCIと不整脈に対するカテーテルアブレーションを除く、カテーテル治療が可能な疾患の総称です。当院で実施可能なSHDインターベンションは下記の通りです。

①大動脈弁狭窄症(Aortic Stenosis:AS)に対する 経カテーテル大動脈弁置換術(TAVR・TAVI)

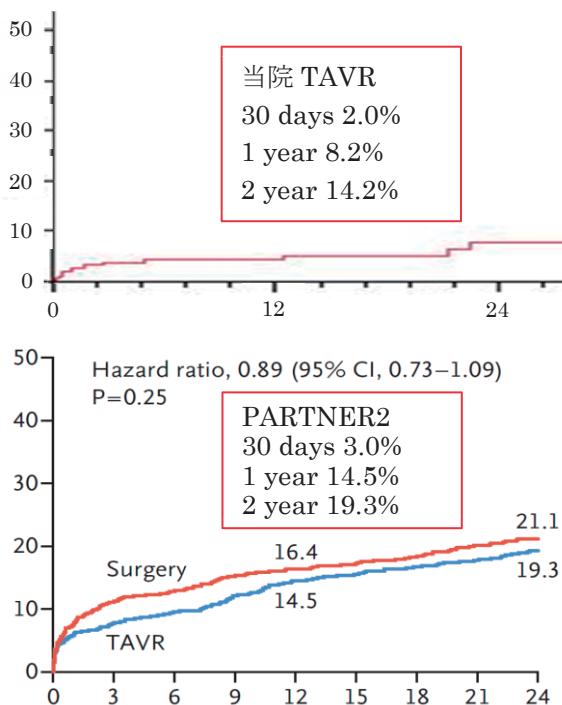
当初は外科の大動脈弁置換術(Surgical AVR)がハイリスクあるいは手術不能な患者さんに対して施行していました。近年手術中等度リスクおよび低リスク患者においても Surgical AVR と同等あるいはそれ以上の成績が証明されたため、積極的に TAVR 適応の評価を行っています。2014年12月～2020年12月で270例を超えるTAVRが施行され、30日死亡 2.0%と国内外の報告と遜色ない成績です。

レクチャー後の情報で、2021年1月より透析患者の適応が一部施設で認可されました。当院でも近日中に透析患者のTAVRが可能になる見込みです。

— 当院でのTAVR件数 (2014/12/4～2020/12/25) —



— All Cause Death after TAVR —



当院の症例は PARTNER1 と 2 相当の患者さんが半々であるにもかかわらず、当院での TAVR の治療成績は欧米のデータと遜色なくむしろ良好なものとなっている。

②大動脈弁生体弁不全に対する

経カテーテル大動脈弁置換術(TAVI in SAV)

2020年4月より大動脈弁の生体弁機能不全(AS/AR)に対し、外科生体弁の内側にTAVI弁を留置するTAVI in SAVを開始しました。(現在5例治療・合併症なし)

③僧帽弁狭窄症に対するバルーン裂開術(PTMC)

ミニレクチャーでは割愛しましたが2020年は2例実施しました。

④心房細動に対する経カテーテル左心耳閉鎖(WATCHMAN device)

心房細動患者で塞栓リスク・出血リスクが高い患者さんに対して2019年9月よりWATCHMAN deviceを用いた経カテーテル左心耳閉鎖を開始しました。経食道心エコー検査で左心耳形態が治療に適しているかを確認しています。

⑤心房中隔欠損症(ASD)に対するカテーテル閉鎖

2018年6月よりASDに対するカテーテル閉鎖を開始しました。

(2020年末現在16例・合併症なし)経胸壁心エコー検査で小さいASDであっても経食道心エコー検査ではサイズが2倍だったり複数個見つかったりする場合が多くあります。一度ご紹介ください。

⑥動脈管開存症(Patent ductus arteriosus:PDA)

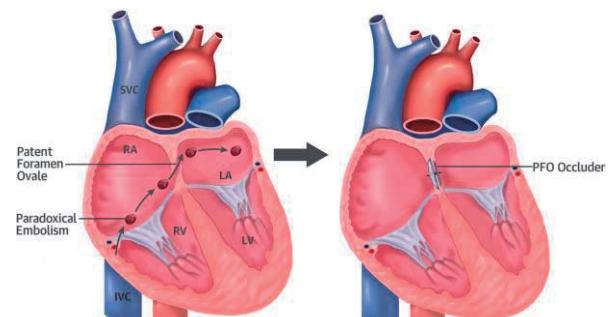
2018年12月よりPDAカテーテル閉鎖を開始しています。(3例:合併症なし)

⑦卵円孔開存症(Patent Foramen Ovale:PFO)

に対するカテーテル閉鎖

2020年9月より奇異性脳塞栓の二次予防目的にPFOのカテーテル閉鎖を開始しました。若年性の脳塞栓で心房細動が見つかっていない場合にはPFOの精査が必要です。

— PFO カテーテル閉鎖 —



- PFO を閉鎖することで DVT の静脈血栓が体循環へ移行するのを阻止し、奇異性塞栓（脳梗塞・心筋梗塞など）を防ぐ二次予防治療
- 肺塞栓症を防止するものではないが、小さな血栓で致命的な後遺症を来す脳塞栓・心筋梗塞を回避できる

将来導入を目指すSHDインターベンションとしてMitraclipがあります。経カテーテル僧帽弁形成術であり、機能性MRと弁中央の逸脱に伴うMRで手術リスクが高い患者さん（高齢・開胸術後・その他基礎疾患など）が適応です。2021年1月より中断していた新規施設申請が再開されました。2021年度中の施設認定を目指しますので、MRの治療で難渋する患者様がいらっしゃいましたらご紹介ください。

これからもハートチームで患者さんに優しい安全かつ低侵襲なSHD治療を目指していきます。

フューメディカル コーナー 薬剤部より

病院薬剤師の オシゴト

地域連携における薬剤師の関わり方

前回、地域医療連携たよりにて薬剤部の紹介をしたのは、2009年（平成21年）でした。それから11年経過し、地域連携において薬剤師の関わり方に変化はあったでしょうか？

政府は、目前に迫った2025年問題とその先を見据えた医療に向かって、法案をいくつも成立させてきました。「在宅医療」の推進もそのうちのひとつです。

病院薬剤師は、入院中のみならず、外来や在宅でも患者さんが安心・安全な医療を受けられるように、医薬品を適正に管理しています。そのため、入院中の患者さんやそのご家族に対して、退院する前から、服薬指導を行っています。これは、ご自宅でも適切な治療が継続できるようにするために、薬剤師はそれぞれの患者さんに合った服薬指導を考え、提案します。在宅医療の場では、薬剤師が直接患者さんに対応する場面はありませんが、地域薬局との連携を心がけることで患者さんの安心につなげています。

電子カルテの医薬品マスター管理業務

今回は、表には見えない薬剤師の業務のひとつ、電子カルテの医薬品マスター管理業務をご紹介します。

医師は、電子カルテ上で様々な記録をするほか、処方の入力も行います。しかし、類似する名称の医薬品があるため、電子カルテにおける誤入力の防止対策は、医療安全の観点から必須です。特に医薬品の単位や散剤の変換係数などは、間違えてしまうと大きな医療過誤につながるおそれがあります。そのため、薬剤師は医薬品マスターに様々な工夫を凝らすだけでなく、マスターの作成・監査に複数の薬剤師が関わるなどの対策にも力を入れています。

YouTubeで発信！「病院薬剤師のオシゴト」

県立4病院薬剤師の職種紹介動画「病院薬剤師のオシゴト」がYouTubeでご覧いただけます。ぜひご視聴ください。

最後に、心臓血管センターの薬剤師は、今後も地域医療を支えるスタッフの一員として努力していきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

（動画は、心臓血管センターのHPより「部門のご案内」→「薬剤部」、もしくは右のQRコードからご視聴ください）



URL : <https://www.youtube.com/watch?v=K8ll8cUclk0>

令和3年度 新入職医師紹介

入職した9名の医師をご紹介致します。

ひと言コメント:
「7年ぶりに戻って参りました。経験を生かして地域医療に貢献したいと思います。」

なかたに ようすけ
中谷 洋介
卒業年:平成 15 年



部長
循環器内科

ひと言コメント:
「安全な麻酔管理を心がけます。
どうぞよろしくお願ひいたします。」

くろいわ ようすけ
黒岩 陽介
卒業年:平成 22 年



部長
麻酔科

ひと言コメント:
「前橋市出身です。地元の医療に貢献できるよう頑張ります。」

ふなびき りょうすけ
船引 亮輔
卒業年:平成 27 年



医師
麻酔科

ひと言コメント:
「機会を頂き、秋田から赴任致しました。少しでもお役に立てるよう努力して参ります。宜しくお願ひ申し上げます。」

かいもり りょうた
貝森 亮太
卒業年:平成 26 年



シニアレジデント
循環器内科

ひと言コメント:
「患者さんと向き合い、少しでも安心できるような診療を行えるよう努力していきます。」

おおい あつし
大井 篤史
卒業年:平成 30 年



レジデント
心臓血管外科

既に連携関係にてお世話になっております。今後ともよろしくお願ひいたします。

令和3年度 退職医師

9名の医師が退官・退職いたしました。在職中、大変お世話になりました。

- 整形外科(副院長)……………有田 覚
- 麻酔科……………碓井 正
- 循環器内科……………宮石 裕介
- 循環器内科……………高木 祐介
- 心臓血管外科……………金沢 祐太

- 麻酔科……………新井 祐貴
- 循環器内科(シニアレジデント)……………岡崎 善則
- 循環器内科(シニアレジデント)……………須藤 祐太
- 循環器内科(レジデント)……………柴田 悟

群馬県立心臓血管センター 外来担当医一覧表

※業務都合等で変更となる場合もありますので、確認のうえご連絡ください。

令和3年4月1日 現在

診療科		医師名	月	火	水	木	金	診療科		医師名	月	火	水	木	金
虚心部 血疾性患門	午前	かわぐち 河 口 廉	●	●			●	心臓血管外科 ※午後の診療は受付12:30～(急患を除く)	午後	えづれ 江 連 雅彦		第1	第1 除く	←9:00～	
		くりばら 栗 原 淳	●			●				やまと 山 田 靖 之			第3 除く		
		やの 矢 野 秀 樹			第1,3 第5	第2,4				ほしの 星 野 丈 二			●		
		けみ 毛 見 勇 太		●						おかだ 岡 田 修 一			第2 除く	←第1週のみ 10:00～	
		すがの 菅 野 幸 太					●			かねこ 金 子 たつお			●		
		きのした 木 下 聰			●					はせがわ 長 谷 川 ゆたか 豊			第4 除く	第1,3 第4	
		おおしま 大 島 茂			●	●			外消化器外科 午前	おぎはら 荻 原 博			●		●
		ほしさき 星 崎 弘 洋		●			●			すずき 鈴 木 純 子	●		●		
		とやま 外 山 卓 二			第1,3 第5					すとう 須 藤 としなが 利 永		●			
		ないとう 内 脊 滋 人	●	●	●	●	●			すずき 鈴 木 秀 喜	●	●	●	●	●
循環器内 科 不整脈門	午後	なかむら 中 村 純 規				●		整形外科 午前	整 形 外 科 午前	たけち 武 智 瑞 美		●	●		●
		みき樹 ゆう祐 こ子	●							ありた 有 田 さる 覚			●		
		たけ 武			●					あだち 安 達 ひとし 仁			●		
		ごとう 後 藤 貢 士	●				●			むらた 村 田 まこと 誠				●	
		ささき 佐 々 木 健 人					●		循環器内 科(専門外来) 午前	やました 山 下 英 治	●				
		みなみ 南 健 太 郎	●							やました 山 下 英 治		●			第2,4
		きし 岸 翔 へい 平		●						あだち 安 達 ひとし 仁			●		
		よしむら 吉 村 真 吾					●			おの 小 野 善 平					
		なかたに 中 谷 洋 介		●						ないとう 内 脊 滋 人				第2	第2
		はらぐち 原 口 裕 美 子		●						みき樹 ゆう祐 こ子					第3
		ささき 佐 々 木 渉					●			うぶかた 生 方 さし聰					第4
心臓リハビリ 部 門	午前 午後	あだち 安 達 ひとし 仁	午後	●			●	診療科 午後	診療科	医師名	月	火	水	木	金
新 患 者 来		むらた 村 田 まこと 誠					●			医師名	月	火	水	木	金
診療科		医師名	月	火	水	木	金								

1 受付時間は、午前8時30分～11時までです。

なお、予約再来の方は、午前8時15分から受付いたします。

【外来休診日】

土曜、日曜、祝日
年末年始(12/29～1/3)

2 紹介状持参の患者さんは、初診・再来にかかるわらず、総合受付6番(地域医療連携窓口)で受付いたします。

3 当院は「紹介型外来」を行っており、紹介状持参の患者さんを優先して診療いたします。

地域医療連携室では、先生方から事前に患者情報を御連絡いただいたうえで、診察日時を予約いたします。FAX用診察申込書またはFAX用検査予約申込書『MRI・CT・シンチグラム・骨密度(DXA法)』を御利用ください。

円滑に診療を進めるためにも、事前予約を御活用ください。

なお、午後5時以降、または休診日にお

送りいただいたFAXへの対応は、翌日または休診日明けとなります。

あらかじめ、ご了承ください。

患者さんの待ち時間を少なくするために、御協力をお願い致します。